

元気で長生き応援団



第 144号 2016年 3月 9日 (水)

発行

NPOライフケア浜松 ☎ 053-426-0691

浜松市南区恩地町 263

(株)LCウェルネス

デイホーム・ここ倶楽部 ☎ 053-427-3244

浜松市南区恩地町 263

よっこらせ

ここ倶楽部 朝市

3月 9日(水) 9:30~

- ・採れたて新鮮野菜
- ・花・野菜の苗
- ・ぬか漬け
- ・各種のおいしいお総菜もあり

お問い合わせ、ぜひおいで下さい

春への憧れ

「春は名のみの風の寒さや」という早春賦の歌詞がピッタリの季節です。それでも時には、暖かい春の陽射しが空気を和らげてくれる日もあります。そして、固まっていた心もゆっくりと溶けて、花を愛でるような優しい気持ちになります。



しょうが愉快です。パソコ
ンがあればす
ぐ聞けます。

過去の「よっこらせ」を見ると、二月・三月のころは、春を待つ気持ちが行間に溢れているように思います。小生もトシを重ねて、寒さに対する耐性が弱くなっているのでしょうか。早く暖かくなってくれ、というので思わずそういう記事

になるのです。でも年齢に関係なく、春への憧れは多くの人にあるものです。

春への憧れ、といえばそのものずばり、「春への憧れ」という歌(モーツァルト作曲)があります。この冒頭の旋律が、早春賦にピッタリ似ているのです。偶然で

また、明る

い時間は着実に長くなっていきます。日の出は早く、日没は遅く。とにかく、もうすぐ春分の日です。季節の移り変わりがはつきりしていて、それに応じて自然の風景花や鳥なども移り変わっていき、それが嬉しいことです。野菜、果物なども季節感をもたらしますが、ただ最近、夏野菜も冬野菜も関係なく、一年中あるので、本来どの季節の物かが分かりにくくなっていますね。これは喜ばしいことでしょうか。

餅と魚の焼き方

先日、餅を焼きながら、ふいと子供のころに母親から聞いた言葉を思い出しました。

「餅は〇〇に焼かせよ、魚はお金持ちに焼かせよ」と。これは諺です。

辞典で調べたら、後半は「魚は殿様に、(あるいは大名に) 焼かせろ」とありました。私の記憶違いか、母の勘違いでしょうか。さて、〇〇には何が入るでしょうか？

さて、この諺に従って、餅を焼くときは、せわしなく、何回も餅をひっくり返していると、いい塩梅に美味しく焼けました。魚を焼くときはおっとり構えて、あせらずじつと待つのが肝心です。

辞典には似た諺として「瓜は殿様に、柿は〇〇に剥かせよ」とありました。厚く剥いた方がよいか、薄い方がよいか、の違いです。

こういうことわざは生活に役立つと思いますが、いかがでしょうか？

〇〇の答え・「乞食」

(乞食は、今では差別用語、放送問題用語として放送界では使っていない言葉。めくら、ちんば、つんば、などと同様に。絵具やクレヨン肌色も禁止用語とか、混血のハーフもいけない、ダブルと言うそうです。なぜ？ハーフは差別？禁止の訳が分からないのがあります)



でも乞食、っているんない伝えがあつて面白いですがね。「三日やたらやめられない」とか「乞食の朝謡い」(朝から歌が出るほど気楽だ)。「乞食に貧乏無し」、これおわかりですか？

「有り難う」の語源

めったに起こらない偶然、奇跡的な出会い、まるで宝くじで一等が当たるような、絶対に起こらないようなことを、**盲亀の浮木**(もうぎのふぼく)

といいます。

百年に一度、海底から、浮かび上がってくる盲目の亀が、海に浮かぶ流木の穴に入り込む。

うどんげのはな(優曇華の花)は三千年に一度咲く花で吉兆。

どちらも仏教説話にあるたとえ話ですが、こういう奇妙奇天烈をどうやって思いつくのでしょうか？こんなこと有り得ませんよね。

仏教の教えでは、私がこの世に生まれ出ることができたのも、これほどに有ることが難しいことだったのだよ、と教えているそうです。有り難うの語源でもある、といえます。自分の誕生そのものに感謝、これはある年齢にならないと理解しませんがね。

「おれは頼んで生まれて来たんじゃねえよ」と、若い時にうそぶいた人は多いのではないですか？



◆2月1日 縄編み

いらぬ布を使ってコースター作り。細く切った布を縄編みにしてぐるぐるまくのですが、その縄編みが大変。ところがKさん、手の平で布をよりながら2本の布をきれいに編んでいくではありませんか！子供の頃、わらで縄を編んだんですって。早速、Kさんに講師になっていただきみなさんと編みました。

◆2月6日 ビンゴゲーム **石川県**

都道府県名ビンゴゲームをやった。2グループに分かれ、25のマスに都道府県名を書き入れる。「私が言ったのが書いてあったら、印をつけてくださいね」。いくつ言った時かな？「ビンゴ！」というので見たら、縦に5つ印がつけられている。「おお！こちらのチームの勝ちーっ！・・・ん？ここに、石川県が2つ書いてあるじゃん」「石川県が出たら、一気に2つ印がつくから、お得だと思って」「何がお得だよ。**インチキじゃん**」と相手チームからブーイング。で、このゲームはなかったことに。

◆2月8日 退院おめでとう

入院されていたNさん、めでたく退院さ

れ今日からここ倶楽部

へ。ご本人もうれしそうでしたが、何より、他の皆さんが大喜び。早速おやつに**甘酒**で退院祝いの乾杯をしました。



◆2月12日 味噌作り

今年も黒豆4キロ、麴4キロ、塩1.7キロで味噌作り。2日かけて黒豆をやわらかく煮、今日は皆さんでつぶしていただきました。昔、村での共同味噌作りを手伝ったというRさん、出来上がるのがとっても楽しみだそう。4月ごろ天地返しをして6月ごろから食べられるかな？

◆2月17日施設入所のAさんへ

明日、施設へ入所するそうですね。あなたとは13年のおつきあいでした。怒られたり、不機嫌になるようなこともしました。でも一緒に歌ったりおしゃべりもしましたね。旅行で一緒に温泉に入ったりした楽しい思い出ばかり浮かんできます。最期まで在宅で過ごされ、娘さんと私たちで看取るものだと思っていましたが、娘さん、疲れていたのでしょうかね。あなたを入所させてしまったこと、自分たちの力不足、



デイサービスとしての役割の限界を感じ責めています。せめて、施設の職員さんたちに愛されて、心穏やかに、おいしく、たのしく、うれしい時間を過ごされるよう、心からお祈りしています。さようなら。ありがとう。



◆2月19日 みどり一なの梅

今日はぽかぽか日和。久しぶりに「みどり一な」へお散歩に。池のほとりに見事な紅梅、白梅が咲いていました。皆さん、梅の花に顔を近づけて香りをかいだり、芝生の上を歩いたり、池の周りを鯉を見ながら歩いたり。河津桜も咲いて、外出するのはいいですね。

◆2月24日 そば打ち大会

今日は現役っ子クラブでそば打ち大会があり、皆さんで見学したり体験したり。体験されたUさん、粉をこねるところから切るところまで、先生が横についてくださいましたが、おひとりで完成されました。「切るのはむずかしかった。でも楽しかった」。お昼は打ち立ておそばと揚げたててんぷら。本当に本当においしかったです。

